

登録コード	T0016900	開講年度	2026			
授業科目	高等学校教育実習(16T以降)				担当教員	藤井 善章 他
英文授業名	Teaching Training				副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】
	2 5Tカリ, 2 3Tカリ					
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。				⇔	・教職課程での学びを生かし、実践的な教育活動を体験することを通して、自らのカリキュラム・マネジメントの資質能力を開発すると同時に、コミュニケーション能力を高める。
	2 6Tカリ					
	【26T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				⇔	・教職課程での学びを生かし、実践的な教育活動を体験することを通して、自らのカリキュラム・マネジメントの資質能力を開発すると同時に、コミュニケーション能力を高める。
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	教育実習校（高等学校）において、高等学校における教科指導や生徒指導等の領域教育・学校運営等についての基礎的内容について、様々な角度から実践的・体験的に教育活動を学ぶ。					
(5)授業計画	実施時期：5月～9月（6月上・中旬頃に行うことを原則）実習校と協議して決定します。 全授業時間…60時間以上（実習期間2週間） ・授業参観 ・授業担当（研究授業を含む） ・放課後の研究指導 ・学級経営の参加 ※実習録提出後に授業アンケートを実施してください。					
(6)成績評価の方法	教育実習受入校での評価と、教育実習録等のデータから総合的に判断する。					
(7)成績評価の基準	教育実習の「教育実習録」,「評価書」,「出勤簿」に基づいて評価します。 授業の達成目標の水準にあるか否かの基準は次の通りです。 卓越している（秀, 90～100点）：上記3点全ての内容が優れていて、教員を感心させるレベルにある かなり上にある（優, 80～89点） やや上にある（良, 70～79点） 水準にある（可, 60～69点） 水準よりやや下にある（不可, 50～59点） 水準にない（不可, 49点以下）					
(8)事前事後学習の内容	教育実習受入校の担当教員の指示に従ってください。 関連の授業として「教育実習事前・事後指導」が設定されており、こちらも必ず受講してください。					
(9)履修上の注意	必要があれば指示します。					
(10)質問,相談への対応	随時。					
(11)その他	質問・相談は、随時、下記で受け付けます。 藤井善章 fujiiy@shinshu-u.ac.jp 教職支援センター（松本キャンパス）, 0263-37-3367					
【教科書】	「教育実習・介護等体験 安心ハンドブック」藤井善章・小山茂喜編著、学事出版、2026年、2200円					
【参考書】	なし					